



《協力：陸前高田まちづくり協働センター・高田大隅つどいの丘商店街》

ふれあいネットワーク

いのちのせき

社協 だより

第24号

〔2012年10月25日発行〕



中高生が陸前高田市内で 復興支援ボランティア体験

ボランティアに対する関心を高めるため行っている夏体験・ボランティアスクールは、昨年度に引き続き、沿岸被災地における活動を通して、ボランティアの理解を深めました。

1日目は救急救命法や災害ボランティアの概要を学び、2日目に2班に分かれ陸前高田市の高田大隅つどいの丘商店街で、震災前の陸前高田市風景写真展や商店街行事の手伝いなどの活動をボランティアとして体験。3日目は陸前高田市で見聞きし、体験したことをふり返り、自分達が支援できることについてグループに分かれ、考えを深めました。

生徒たちは写真の掲示に際し、住民に話を聞きコメントを書き加えることで、被災された方々に思いを寄せ、寄り添うことが復興の一助になることを学びました。参加した生徒それぞれが自身の生活や家族、地域をふり返って考えてみる良い機会となったようです。



この広報は共同募金の一部をあてて発行しております。

一関市社会福祉大会



第七回 一関市社会福祉大会

第七回一関市社会福祉大会は、安心して日常生活を営むことができるよう、関係機関と一体になって福祉社会を構築していくための、新たな方向性を模索するため、福祉関係者、市民約四百五十人が参加して藤沢文化センター「縄文ホール」で開催されました。

開会に当たり大澤社協会長が、「昨年三月十一日に発生した東日本大震災は、かつて体験したことのない大きな被害を残しました。そして、あれから一年余がたち、懸命の復興復興の努力がおこなわれていますが、まだそ

の緒についたばかりという印象であります。

また、一関市内の市民はもとより、各地で被災した方々は、安全な生活を取り戻しつつあるものの、身近な生活への不便や将来の生活再建、心身の健康、子弟の教育などなど、新しい課題が顕在化しております。

社会福祉協議会では、「支え合い 幸せ感じる 地域の暮らし」の基本理念のもと地域福祉活動を展開してまいりましたが、この理念の重要性が再認識されたものと感じております。

住み慣れたまちで、健康で生きがいをもち、安心して暮らすことのできるコミュニティの構築こそ人としての幸せの原点であり、この大震災を期に、一人ひとりの生き方を再点検し、生活の基盤としてのコミュニティの再構築を市民とともにやっていくことを改めて決意をしたところであります。

コミュニティとは、そこにあるものではなく、市民の力と普段の努力によって構築され、維持されていくものであります。本大会が、本日の参会の皆様の決意と覚悟の一助のなることを願います。」と挨拶しました。

表彰は、福祉委員、職員、民生児童委員、民間社会福祉



施設役職員等の方々に表彰状、福祉事業、共同募金への寄付個人・団体に感謝状が、家庭介護者の方に褒章状が贈呈されました。
記念講演は、一関市国保藤沢病院長 佐藤元美氏が「市民とともに創る地域医療と福祉」と題して行われました。

概要は、次のとおりです。

「住民とともに創るのは医療、福祉だけじゃないですね。いろんな住み方、暮らし方は住民と一緒に考えていくというふうにしないとイケないんじゃないかなと思います。

心配なこと、これは私の立場です、皆さまも関心があるかもしれませんけど、医療崩壊、あまり好きな言葉じゃないんですが、マスコミでも周期的に取り上げられています。

特に、小児科とかお産関係とかへき地、離島救急、そういった医療の崩壊というものが言われています。皆さんも心配な方がいるかもしれないですね。この十年間ほど、特に、岩手

手は日本の中でも一番人口当たりの医師数が実質的に少ない所として苦労している訳です。

人口当たりでいうと多分一番少ないのは、千葉とか埼玉とかが少ないんですね。それは患者さんが東京に行くからだろうと思うんですけど、一種の偏在ですね、これも非常に大

きな問題です。医師の少ない岩手の中で、医師の半分ぐらいが盛岡に集中しているんですね。中部圏というか盛岡から北上ぐらいまでの所にかんりの人が集中している。

もう少しマクロで見ると東北新幹線の駅がある所以外の所のお医者さんは非常に少ない、日本中の偏在のほかに岩手県の中での偏在もある。

それから、私達が住んでいる一関地方についても旧一関市内と旧東磐井では大きな医師の偏在があつて、医療についての大変さ苦労についていうと、旧市内と旧東磐井では大きな格差があるんじゃないかと思っています。」と地域の現状から話され、藤沢病院の歴史、地域に出向いて行ったナイトスクール、病院を支える会と共催している藤沢地域医療セミナーなど実践されている内容をスライドを使いながらお話され、「医療とか介護は、こういう医療がほしい、こういう介護が欲しいだけでは、残念ながら前に進みません。医療や介護担当している人たちと住民と一緒に話し合つて、自分たちに合った医療、自分たちに合った介護を、なおかつ、今の経済の中で一時的じゃなくて、先々も継続できるような医療や介護じゃないといけないですね。」と講演を結びました。

最後に、社会福祉協議会評議員の伊藤みくにさんが大会宣言を提案し、満場一致で採択されました。

記念講演の講演録と、五月に開催した地域での暮らしを考える講座の抄録をご希望の方は、一関市社会福祉協議会までお申し出ください。



第7回 一関市社会福祉大会

被表彰者 (敬称略)

1. 社会福祉協議会関係功勞

(1) 社会福祉協議会理事

(通算8年以上在職)

小野寺孝一 彌美

(2) 社会福祉協議会評議員

(通算8年以上在職)

小野寺孝一 彌美

菅原兼一 男

藤原良一 男

佐藤昭一 男

岩淵敏一 男

丹野貞男

千葉幸子

三浦佳輔

菅原道博

佐藤忠雄

小川恒勝

鈴木勝

大東支部

東山支部

金野真由美

2. 民生児童委員功勞

(1) 民生児童委員

(通算8年以上在職)

大東支部

千葉久美子

千厩支部

渡邊晃

室根支部

小山耕司

藤沢支部

佐藤とみ子

佐藤有一

一関支部

小野寺雅枝

菅原秀子

葛城ミヤ子

さいわい会

東郷司

(2) 社会福祉施設の職員

(通算20年以上在職)

仁愛会

熊谷和枝

平成会

千田裕美

かざわ福祉会

阿部笑子

星昭宏

皆川昭法

千葉優子

佐々木裕子

高橋和浩

鈴木文雄

時田慎

三浦千代美

千早恵美

千早恵美

千早恵美

5. 共同募金運動関係功勞

(1) 共同募金運動功勞

(社協会長 表彰状)

(8年以上の活動)

一関支部

吉川真理子

小川常光

岩井健壽

齊藤祥三

阿部好延

大東支部

鈴木恒勝

小川恒勝

佐藤忠雄

菅原道博

三浦佳輔

小野寺孝一

小野寺孝一

小野寺孝一

小野寺孝一

小野寺孝一

6. 福祉事業への寄附

(1) 福祉事業への寄附

(社協会長 感謝状)

(5万円以上の寄附)

一関支部

菅原俊哉

齋藤周一

熊谷徳子

青柳小枝子

菅原昭

花泉支部

今野壯助

高橋タキ子

佐藤佐津夫

遠藤常生

佐々木幸雄

木村久雄

千葉ヨシ子

高橋公治

小野寺敬子

佐々木厚司

小島正太郎

金野清一

小野寺敏一

中津山純

加藤悦子

中川康

中沢教

伊藤哲夫

小野寺進

伊藤英樹

永澤孝子

伊東英樹

佐々木孝一

小野寺孝一

小野寺孝一

小野寺孝一

小野寺孝一

小野寺孝一

小野寺孝一

小野寺孝一

小野寺孝一

畠山郁子	小野正吉	佐藤一夫	吉田光男	北條喜久博	高橋順久	芳賀修和	齋藤祐子	小野村純一	田村賢一	熊谷正弘	小山晃典	小嶋正典	藤代武彦	室根支部	安東秋馨	佐藤男	那須浩彦	渡邊幸雄	小野寺志	石崎高治	高橋堅男	金拓男	小野寺教	佐藤政男	和賀義法	千葉英子	石崎泰男	金初輝	千葉正主	佐藤篤治	佐藤鐵徹	小野寺三	佐藤五	鈴木榮夫	千葉丈喜	菅原慶喜	鈴木昌	東山支部	本田峯子
------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	-----	------	------	------	-----	------	------

- J Aいわてで南女性部
いちのせき協議会
- 田園工房
- 法泉寺寒修行団
- 花泉支部
- 第22回一関市老連
- 花泉支部芸能ま
- つり実行委員会
- 大東支部
- 室蓬会職員互助会
- 大原ゴルフ同好会
- 千厩支部
- 雇用促進梅田自治会
- 東山支部
- 松川婦人会
- 山神社奉納夏山演
- 芸会
- 田河津中学校昭和41
- 年度卒業生同級会
- 竹沢集落振興会
- 藤沢支部
- 株式会社アーク
- 関水書道会
- 7. 共同募金への寄附**
(社協会長 感謝状)
- (1) 共同募金への寄附団体**
(5万円以上の寄附)
- 花泉支部
- 花泉町仏教会
- 花泉古代稲生産組合
- 千厩支部
- 一関市ゲートボー
- ル協会千厩支部
- 8. 家庭介護者褒賞**
(社協会長 褒賞状)
(8年以上の介護)
- 一関支部
- 千 葉 悟
- 藤 原 智

米倉 朋子	佐藤 友子	菊地 益子	佐藤 福恵	千葉 睦子	花泉支部	今野 知恵子	石川 道子	佐々木 卓郎	及川 和子	高橋 美枝子	佐藤 セイ子	佐藤 邦子	千葉 勝代	大東支部	金野 キク子	岩 渕 克子	千葉 きく子	川崎支部	氏 家 忠子	遠 藤 信雄	9. 中央共同募金会会 長感謝状	本部	第27回歳末助け合 い市民芸能まつ り実行委員会	10. 岩手県共同募金会 会長感謝状	(1) 寄附(個人・団体)	一関支部	吉田 敬	秋元 己由	一関中央ロータ リークラブ	北上製紙株式会社	一関市ゲートボー ル協会一関支部	一関市女性セン ター自主クラブ
-------	-------	-------	-------	-------	------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	-------	-------	------	--------	--------	--------	------	--------	--------	---------------------	----	--------------------------------	-----------------------	---------------	------	------	-------	------------------	----------	---------------------	--------------------

生活支援相談員のご案内

一関市社会福祉協議会では、平成二十四年度から生活支援相談員を設置し、東日本大震災で被災し避難をされているご家庭の訪問、沿岸避難者等の交流事業としての『ふるさとお茶っこ交流会』を開催し、交流の場づくりを行っています。



「寄り添い、一緒に歩いて行こう」を行動目標に、二名の生活支援相談員が被災者相談支援を行っております。

・問合せ先：二三一六〇二〇

生活支援相談員 橘内・平野

・相談時間：午前九時～午後五時

(土・日・祝日はお休みです)

支部通信

一関支部

水難物故者等を追悼

昭和二十二年のカスリン台風、翌二十三年のアイオン台風と二年連続での台風襲来で多くの尊い命が失われました。その尊い生命を奪われた犠牲者を偲び八月二十日、第六十五回水難物故者一般物故者追悼法要及び流燈会を一関仏教会と合同で磐井川河川敷聖観音像前で開催しました。

午後六時三十分より法要を開始し、一関市長、一関市議会議長、一関消防団長より追悼の言葉を頂き、焼香を行いました。

その後、午後七時より燈籠流しを開始し、参加した方々は、台風により犠牲となった先祖の供養を行いました。また、昨年三月十一日におきた、東日本大震災で犠牲となった、

方々の供養を行う方もおりそれぞれの思いで燈籠を流していました。



花泉支部

こんにちは！

高齢者総合相談センターはないずみ（地域包括支援センター）です。

一関広域管内六カ所目として、花泉地域に平成二十四年一月にスタート致しました。

普段、皆さんは健康で日常の生活を当たり前の様に生活し、これからもまた送りたいと願っていることと思います。

しかし、高齢になるにつれ、病気や怪我等をキッカケとし、その当たり前の生活が大変となり、お困りになることがございます。



高齢者の皆様がいままで住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、介護、福祉、健康、医療等の総合的な相談をお受け出来るよう専門資格を持った職員三名がお待ちしています。

事務所は花泉支所一階（正面玄関を入って左）にございますのでお気軽にお寄りください。

◇主にどんなことをするの？

①高齢者介護や福祉に関する相談。

②介護予防ケアプランの作成、介護予防事業のマネジメント。

③ケアマネージャーへの支援やネットワークづくり。

大東支部

④高齢者に対する虐待の防止やその他の権利擁護事業。

一関市老人芸能まつりに向けて「東北音頭」初披露！

摺沢地区老人クラブ「摺沢寿会踊りクラブ」が十月二日に開催された摺沢寿会運動会にて「東北音頭」と「大東音頭」を初披露しました。

百七十名以上が集まった会場では、東北の風景や民謡を詠み込んだ「東北音頭」に魅入り、合併後も踊られ続ける「大東音頭」では大きな踊りの輪が広がりました。

「摺沢寿会踊りクラブ」は来年二月に開催される一関市老人芸能まつりへの参加に向け、会員同士が呼び掛け合い発足。現在、十五名を上回る会員が日々練習を重ねています。

会員は、「今日は初披露でとても緊張したが、会員と踊るのはとても楽しく、会員同士の親睦もより深まった。芸能まつりではもっと多くの方々に見ていただくので、さらに上達するよう練習に励みたい。」と今後の活動に意欲を見せていました。

摺沢寿会会長の菊池重志さんは、「去年、東日本大震災において東北地方は大きな被害



を受けた。一関を元気づけ、さらに東北を元気づけるため、会員一丸となり心を込めて踊るつもりです。」と芸能まつりへの意気込みを語りました。

千厩支部

草刈りの後の芋煮会で絆を強める交流

「地域に暮らす縁を大切にして、一層の絆を深めて行こう。」という掛け声のもと、小田梅田自治会は、震災の被災者が暮らす梅田住宅の自治会「明日花の会」と協働で、環境美化活動の一環で取り組んだ草刈作業に心地よい汗を流しました。

作業後は、小田梅田自治会館に移動して、地域の老若男女が参加してのゲートボールリーグや縄ない競争などのミニ運動会、ビンゴゲームなどを楽しむとともに、千厩町老人クラブ連合会の協力を得てのカラオケ大会に自慢ののどを發揮しました。

草刈作業をねぎらったの芋の子汁やおにぎりは、両自治会の女性達が前日から下準備。

当日は、一関市の自主防災組織活動助成金を活用して導入した最大百二十人分のごはん和汁物を同時に調理できる「炊き出しステーション」の使い初めともなりまし



た。

会員提供の地元食材と女性達みんなの「まごころ」を隠し味に添えての料理に、「とても美味しい、お代わり。」の声が続き、みんなの心が温まる秋の一日を楽しみました。

両自治会では、「みんなの絆を一層強めながら、地域の一員として互いに支え合い、協働の地域づくりを推進しよう。」と、今後の活動を進めていくこととしています。

(記事提供・小田梅田自治会長)

東山支部

さくらの湯で懇親を深める



平成二十四年度第一回ひとり暮らし高齢者の集いを七月十一日(水)水沢のさくらの湯を会場に開催しました。参加者は三十名で、民生委員児童委員協議会の協力を得て、親睦を深めることが出来ました。

心地良い温泉とみんなで食べるおいしい昼食とおしゃべりで、和やかな楽しい時間を過ごすことが出来ました。

「次は十一月だね」と「第2回」での再会を約束していました。

室根支部

「たまご湯」から地域づくりのヒントを学ぶ ―「室根地域づくり講演会」―



去る六月十八日、第四回「室根地域づくり講演会」が室根支所・曲ろくホールで開催され、約六十人の聴衆が、地域づくりについて熱心に学ばれました。

講師は、千厩第十区自治会の伊藤清一会長、事務局の佐藤静雄氏のお二人。「地域のみなが楽しめる新しい地づくり」と題し、畑の沢鉱泉の歴史や、「たまご湯」での地域づくり事業が軌道に乗るまでの色々な苦労話・経緯・今後の目標・課題等を、スライドやユーモアあふれるお話しで熱く語っていただき、皆、楽しくそして感心しながら講演に聞き入りました。

地域の交流の場として、自治会の会員だけではなく、区外の人々をも巻き込みながら、皆に無理なく楽しんで参加してもらっている活動話に、聴衆は「なるほど!」と、頷いたり、メモをとったりして、有意義な「地域づくり講演会」となりました。

川崎支部

シルバーパワーで熱戦!

市社会福祉協議会、川崎町体育協会、市老連川崎支部老人クラブの共催による川崎地域高齢者スポーツ大会が、七月三日川崎体育センターを主会場に二十五クラブ約四百人が参加して開催されました。

アトラクションでは、川崎保育園児のポンポンを持って踊った可愛らしい演技に大きな拍手が贈られ、会場を和ませてくれました。ボール送りは、背伸びや腰を起こしての競技で、頭の上から送られたボールは一チーム十二人の協力で最後まで送りました。

パン食い競争では、大きくて重みのある餡パンだったのか?なかなか取れないチームもあって、必死にくわえようと大いに盛り上がりました。競技後に食べた餡パンは、格別に美味しかったのではないのでしょうか。

カラフルなラグビーボールを使って行われた安全運転パートⅡは、ボールがとんでもない方向に飛んでいたりして、安全な運転とはいかなかったようです。暑さの中、どの競技も熱戦が繰り広げられ、応援の熱気でも熱くなりましたが、大きな事故もなく無事終了することができました。



藤沢支部

金婚を祝う会

藤沢支部では結婚五十周年を社会的に祝福し、今後も地域の中で活躍されることを願って「金婚を祝う会」を毎年十一月に開催しています。昨年で第十五回となる「金婚を祝う会」は、結婚五十周年を迎えた町内のご夫妻二十五組の内十組と、市や市議会、福祉委員、民生児童委員、福祉事業関係者が参加しニューパレスみなこうを会場に開催しました。祝詞や余興で楽しいひとときを過ごし、金婚カップルの人生の節目をなごやかに祝福しました。

今年度の第十六回金婚を祝う会は、十一月二十九日まるふくプラザで開催を予定しています。十月十日から福祉委員さんと、民生委員さんが該当ご夫妻の調査を行いますので協力をお願いします。該当するご夫妻は、昭和三十七年四月から昭和三十八年三月までの間に結婚し藤沢町に住んでいるご夫妻です。過去において参加できなかったご夫妻も希望により参加できます。



金婚を祝う会の日程は次のとおりです。

- 9時00分 〃ご夫妻の記念写真撮影
- 10時30分 〃集合写真撮影
- 11時00分 〃式典
- 12時00分 〃祝宴

会費につきましては、ご夫妻一組五、〇〇〇円です。



共同募金運動にご協力を あなたの募金はあなたの町へ

10月1日から

赤い羽根共同募金

共同募金は、民間福祉事業を支援するため、社会福祉法により制度支援されている募金です。

寄付や募金活動という誰もが参加できる活動を通じて、社会福祉に対する理解を深めていただくとともに、ご協力をお願いしているところです。

平成12年に社会福祉法改正により共同募金が地域福祉を推進する募金に位置づけられたことから、今後一層共同募金会と社協の連携を密にし、地域福祉事業の推進を図ってまいります。

市民の皆様から寄せられた募金は、

- 地域福祉推進事業
 - ふれあいサロン
 - 在宅介護者リフレッシュ事業
 - 社協だよりの発行
- など事業展開するための費用の一部に充てられます。

目標額 **19,980,000円**

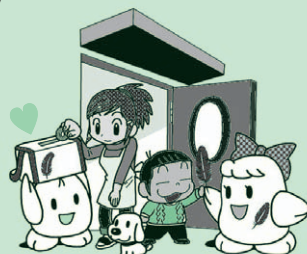
12月1日から

歳末たすけあい運動募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい運動募金をお願いします。

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々に対し、地域で安心して暮らすことができるよう生活支援を中心に、助成を行ってまいります。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。(12月1日から募金活動を行います。)



目標額 **22,140,000円**

声の新聞・朗読グループ

声の新聞・朗読グループは花泉地域にあるボランティアグループで、現在も代表を務める千葉かきわさんが中心となり平成三年より活動を始め、今年で二十二年目となります。

声の新聞を毎月二回、町内のニュースや歌、昔話をテープに録音し、視覚に障害のある方へ届けています。積み重ねた回数は、平成二十四年十月前半号で四百九十一号となります。

会員達は当番制で各家庭での活動となりますが、年三回の反省会と会員向け会報「ひまわり」、連絡ノートを活用して録音内容を考え、情報交換をしています。朗読や発音は独学で練習となりますが、その分気楽に取り組んでいると言います。

家庭でラジカセを使った録音となるので、来客や電話、犬の鳴き声などの雑音を避けるために静かな夜中に録音するなどの苦労がある



ります。事務局の佐藤セイ子さんは「専用の録音室や機材があれば」と話していました。また合併して花泉のニュースが減ったとのことですが、普段からチェックした新聞の切り抜きを集めたファイルを見ると、活動に対する熱意が伝わってきます。

現在四名の利用者と五名の会員がいますが、今後は、聞く人もボランティアも増やしたい。視覚障害者でもなくても、高齢で新聞が読めなくなった方で、家族が聞かせたいという方も気軽に申し出てほしいと言います。お問い合わせは社会福祉協議会花泉支部(電話 八二四〇〇二)までお願いします。

義援金を頂きました

一関地主町出身のプロレスラーYAMATO(本名小野寺正人)さんが所属する「ドラゴンゲート」の一関大会が九月十七日に市総合体育館開催され、その際全国のファンから寄せられた義援金三十万円をご寄付いただきました。「ドラゴンゲート」は東日本大震災被災地の復興支援に取り組んでおり、その一環として贈られたものです。衷心より厚くお礼申し上げますとともに、ご意志に沿い有効に活用させていただきます。

地域活動団体紹介

まごころ寄附

平成24年6月から平成24年8月までに、市民の皆様からご寄附がありました。

一関支部

三関字小沢	佐藤志津子 様	100,000円
田村町	阿部 郁哉 様	100,000円
一関市	チャリティー踊りの会 実施委員会 様	100,000円
田村町	吉川真理子 様	200,000円

花泉支部

永井字南小茂	小野寺良行 様	100,000円
花泉町	丸正運輸株式会社 社長 千葉 正三様	10,000円
老松字佐野屋敷	黒井 弘 様	100,000円
花泉町	花泉ダンス同好会 会長 阿部すみ子 様	10,000円
油島字原田	菅原 昭一 様 紙おむつ250枚 匿 名 様	100,000円

大東支部

猿沢字諏訪向	菊地 松夫 様	50,000円
中川字新城	中村 長雄 様	50,000円
摺沢字魚集	三浦 佳輔 様	50,000円
猿沢字山崎	菊地 勲 様	50,000円
鳥海字古戸前	伊東 譲 様	100,000円
大原字沼ノ沢	金野 京子 様	100,000円
大原字一ノ通	菅原 隆男 様	50,000円
大原字山谷沢	鈴木 昭悦 様	30,000円
宮城県気仙沼市	一文字美咲実行委員会 様	30,000円
渋民字小林	芦 宏 様	100,000円
大原字川内	小山 修 様	100,000円
中川字中大畑	小山 年男 様	50,000円
曾慶字角地	佐藤 利一 様	50,000円
大原字畑中	千葉 香代 様	50,000円
猿沢字金取東沢	吉田 博子 様	50,000円
中川字伍和田	金野 健一 様	50,000円
渋民字横枕	菊池 博幸 様	10,000円
沖田字沢	小山 耕一 様	100,000円

千厩支部

小梨字大久保	尾形 愛子 様	100,000円
奥玉字土樋	佐藤 明美 様	100,000円
千厩字下木六	村上 貞雄 様	50,000円
奥玉字町下	菅野テル子 様	100,000円

東山支部

長坂字南山谷	佐藤 孝雄 様	50,000円
長坂字南山谷	佐藤 久耕 様	100,000円
田河津字紙生里	東稲あじさいの里 園主 中村精樹 様 東稲あじさいまつり実行委員長 伊藤文雄 様	50,000円
長坂字西本町	千葉トヨ子 様	100,000円
田河津字野土	田河津婦人会 小野寺 克子 様	50,000円
田河津字野土	新田 英樹 様	100,000円
東山町	松川婦人会 様	タオル140枚
東山町	天寿会老人クラブ 様	タオル53枚

室根支部

折壁字愛宕下	小山 真正 様	50,000円
折壁字中里	小山 章 様	200,000円
矢越字矢越	小山 恭一 様	50,000円
津谷川字古金生	芳賀 修久 様	50,000円
津谷川字浮野	芳賀理喜男 様	50,000円
津谷川字竹野下	狩原三代子 様	50,000円
室根町	一関市ゲートボール協会室根支部 支部長 千葉繁美 様	14,143円
折壁字大里	藤代 健治 様	30,000円
折壁字中西	吉田 泰 様	50,000円

川崎支部

薄衣字畑の沢	小山 司 様	50,000円
門崎字石蔵	鈴木 徳夫 様	50,000円
	匿 名 様	100,000円
	匿 名 様	4,144円

藤沢支部

黄海字箕ノ輪	菅原 昭 様	100,000円
藤沢字町	畠山 博 様	100,000円
増沢字下藺沢	伊藤 冨治 様	50,000円

まごころ寄附 の使いみち

皆様から頂いた、まごころ寄附は、「小地域福祉推進事業（地区福祉活動推進協議会等への助成）」「ふれあいサロンへの助成」など地域福祉を推進するためや「社協だよりの発行」の貴重な財源となっております。7月…第7回一関市社会福祉大会、9月…ゆいっこ広場in室根の事業費の一部に使われております。

ホームページに関する
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ

<http://www.ichinoseki-shakyo.com/> E-mail : info@ichinoseki-shakyo.com